

すくすくおっぱい通信 第38号

令和7年 1月号



余寒厳しい日々が続きますが、皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。
令和6年5月に厚生労働省のホームページに『出産なび』が開設されました。
今月号ではその特色と当院の強みについてご紹介します。



『出産なび』とは…

全国の分娩を取り扱う施設の特色やサービス、費用について情報を入手することができる検索サイトです。全国の2043施設の情報が掲載されています。

ご家族の状況によって、出産する施設に対するニーズは様々です。このサイトでは出産にかかる費用や立ち会い分娩の有無、提供される助産ケアなど妊産婦や家族にとって「ほしかった」情報が容易に検索することができます。

「出産なび」トップページ

施設詳細情報

[各項目の詳しい説明はこちら](#)

施設の情報

助産ケア

付帯サービス

費用等

掲載されている情報には『施設の情報』『助産ケア』『付帯サービス』『費用等』があり、当院の施設の情報を見ていくと専門職数には産科医師、小児科医師、助産師数、アドバンス助産師数と並びますが、皆さん『アドバンス助産師』を知っていますか？

専門職数 (2023年10月1日時点)

産科医師数	12人
小児科医師数	13人
助産師数	33人
助産師数のうちアドバンス助産師数	16人
看護師・准看護師数	0人

出産なびより抜粋

『アドバンス助産師』とは認証制度に合格し、高度な知識や技術を持つ助産師のことを指します。

宮城県では185名、当院では現在18名が認定されており、**県内で2番目にアドバンス助産師の多い施設**となっています。当院はスタッフ数に占めるアドバンス助産師の割合も多く、専門性のある質の高い助産ケアを提供しています。アドバンス助産師を中心に在籍する助産師が自立して「助産師だからこそ」できるサポートを提供できるよう勉強会や研修も開催しています。

地域で生活する妊婦さんが安心して出産し、出産後もご家族の皆さまと育児にのぞめるよう日々努めてまいります。妊娠中～産後まで些細な迷いや不安も遠慮なくご相談下さいね。

👤 市立病院スタッフのすくすくコラム 🧑‍🍼 新人助産師 K 編

5階西病棟で働き始めてあっという間に7か月が過ぎました。まだまだ慣れない部分も多いですが、経験豊富な先輩方に支えて頂きながら日々業務に奮闘しています。私が今、業務の中で一番難しいと感じていることは授乳支援です。赤ちゃんの体重や排泄状況、母乳分泌量など様々な情報をもとに予測を立て、その日の最適な授乳支援を考えます。しかし、自分が最適と考えた授乳支援を行っても、翌日体重が思うように増えていないこともあり、難しさを日々感じています。お母さんと赤ちゃんの数だけ、授乳支援の方法は多様にあります。先輩方がたくさん持っている『ワザ』を見てまねて、一人一人に寄り添った支援ができるようこれからも頑張ります。